

法人事業報告

1. 総括

法人設立10年目を迎え、現状の収益事業の立て直しが急務となっている。法人の基本的責任・役割となる障害者福祉を中心に経営をしていることを再確認し、今後の福祉政策の動向を見定め就労継続支援A型事業を見直す時期に来ている。5年・10年先の社会福祉法人としての経営を考えていく。

2.事業内容

H28	4・1	辞令交付
	5・18	監事監査
	5・26	第1回 評議員会・理事会（平成27年度事業報告・決算報告）
	8・6	法人納涼祭（流しそうめん・歌謡ショー）
	12・4	第2回 評議員会・理事会
H29	2・12	第3回評議員会・理事会
	3・31	第4回評議員会・理事会（平成29年度事業計画（案）・予算（案））

1. H28年度の状況

1) 馬事業の状況

馬預託に関しては、6頭となっている。預託馬年齢 28 歳、26 歳、22 歳、14 歳、14 歳、10 歳である。養老馬預託事業は不安定な現状が継続している。法人所有馬・ポニーに関しては、10年先を見通すことができているが、使用頻度が極端に少ないポニーもあり、広告を兼ねた実演的は営業が行える施設等との提携が望まれる。

*現在、自馬（預り馬） 6頭	半自馬（預り馬、半額） 2頭	ポニー（預り馬） 1頭
法人所有馬 馬 2頭	ポニー 4頭	
計 15頭		

馬は特殊な業界であることを踏まえ、乗馬倶楽部としての経営には馬を預けたくなる技量が必要であり、馬事業全体の管理ができる人材の育成をし、預託馬を最低でも2頭以上増やせるよう目標を設定していかなければならない。養老馬を集めることはバブル景気以後衰退しており、現状の景気を考えても急増できないことが予想される。騎乗に来て下さるお客様に、乗馬大会参加を目指してもらうことにより、大会前の騎乗料の増加に繋がっているが、入会しやすい価格設定（消費税を含め）を再検討しなくてはいけないと考えている。個人の入会だけでは収益を伸ばすことは難しく、関係機関、市町村等に協力を依頼し安定した収益を得ることが必要である。

職員各々の役割を確実に遂行できない実態があり、毎月の職員会議を利用して報告を行い対応策の検討を継続し、事業所外研修を利用して資質の向上を図っている。

人員配置基準以上の手厚い職員配置にて支援サービスを提供させていただいているが、職員が利用者7.5人を支援できなければ、障害者総合福祉法の基では経営は成り立たないことを周知している。個々の職員は一生懸命に働いている。事業所職員としてチームワークにて支援することにより職員8名が10名以上の働きとなる。

引き馬イベントに関しては、天候により中止となることもあり計画通りに進まないことも否めないが、対外事業であり組織として対応しなくては、顧客に不信感を持たれてしまうこともあるため、再検討し取り組むことが今後の課題となる。引き馬に参加する人の気持ちになり、個人を優先した対応を心がけ継続利用につなげている。

2) 全事業の売上割合

事業内容	平成28年度	平成27年度	平成26年度
*養老馬の世話をする。 預託料金・運動料金	63% (7頭)	57% (6頭)	67% (6頭)
*乗馬に来て下さるお客様のために馬を育てる。 預託料金・調教料金・会費収入・騎乗料金	1038万	557万	661万
*引き馬イベント イベント料金	11% 184万	13% 133万	10% 96万
*その他の収入 施設外就労賃金・野菜販売等	24% 400万	27% 264万	20% 205万
*肥料・堆肥事業	1% 18万	2% 23万	3% 23万

*設立時、収益事業の中心としていた養老馬が壊滅的な状態。他の乗馬倶楽部からの情報でも養老馬としての預託は現状の景気からは望めるものではない。開所から8年7ヵ月経過し問い合わせも殆どなくなっている。伊香保アリサ中山調教師より紹介が中心となっている。

*肥料事業

融雪剤は気象に左右され平成28年度の受注はなかった。家庭菜園・バラ愛好家に販売活動を行い少量ではあるが販路の開拓を行っている。

2. 利用者の状況

【利用者の推移】定員20名

(雇用契約締結16+2名・雇用契約なし5名) (+定員柔軟化)

	雇用契約締結	雇用契約なし
29年 4月	18名	5名
【現員】	23名	
【年齢】	20～68歳	
【男女比】	18:5	
【利用者地域別内訳】	高崎市 4名	前橋市 5名 渋川市 4名
	沼田市 2名 中之条町 2名	足立区 1名 吉岡 3名 藤岡市 1名
	太田 1名	

30名以上の利用者にならないと職員の安定した雇用条件は確保できない。職員が安定した生活を送れることにより支援がより充実し、障害者に望まれる事業所へと飛躍できる。職員の資質こそがレオナルド・ダ・ヴィンチ牧場の障害者に提供する最良の商品であってほしい。

養護学校高等部及び利用希望者の実習状況

H28	7.	3日間	雇用契約利用者K様
H28	9.	3日間	雇用契約利用者O様
H28	11.	3日間	雇用契約利用者A様
H28	12.	3日間	雇用契約利用者M様
H28	12. 12～14	3日間	埼玉県利用希望者
H29	2. 6～17	8日間	前橋高等特別支援学校

3. 対外交流

月 日	内 容
H28 8.6	流しそうめん（法人納涼祭・歌謡ショー）
9.12～9.16	富士見中職場体験
9.6～8	ナイスハートフェア見学
9.6	第43回中毛地区A班福祉パレード 近隣ワラ回収（請負含む）
12.7～8	事業所旅行 日光湯元方面
H29 1.10～12	ゆうあいフェスティバル見学
毎週金曜日 毎月1～2回 随時	サニーズマーケット野菜引き取り 事業所近隣道路清掃 近隣への貢献（草刈、稲わら・もみ殻の引き取り） ももい様トウモロコシ回収

4. 施設・器具等整備

月 日	物 品 名	数量	金額	備考
な し				

5. 事業活動の状況 収益事業 研修等

月 日	活 動 内 容
【4月】	
6	<input type="checkbox"/> たんぼぼ保育園 引馬16名
7	<input type="checkbox"/> 職員会議
9	<input type="checkbox"/> あかぎ南麓さくらフェスタ
24	<input type="checkbox"/> 馬事公苑大会
27	<input type="checkbox"/> 新任職員研修（のぞみの園）
29	<input type="checkbox"/> るなばーく引馬

【5月】	
4	<input type="checkbox"/> 上野村十石祭引馬
8	<input type="checkbox"/> 元総社地区のびゆく子供のつどい。
12	○職員会議
14	<input type="checkbox"/> 高崎市立特別支援学校引馬 <input type="checkbox"/> すてっぷ祭り
15	<input type="checkbox"/> 富士見地区・東地区・桂萱地区のびゆく子供のつどい。
20	○H28年度障害者（児）福祉施設等に係わる説明会（集団指導） ○平成28年度 福祉施設等新任職員研修
21	<input type="checkbox"/> 榛東村岩崎バラ園引馬・芳賀地区のびゆく子供のつどい
22	<input type="checkbox"/> 粕川地区・宮城地区のびゆく子供のつどい。
25	○群馬就労継続支援A型事業所連絡会 設立準備会
26	○懇親会
29	<input type="checkbox"/> 総社地区のびゆく子供のつどい。
【6月】	
2	○職員会議
3	○群馬県知的障害者福祉協会総会
6	<input type="checkbox"/> たんぼぼ保育園引馬
14	<input type="checkbox"/> 星夜の森引馬
16	○平成28年度 日中活動支援部会
23	○懇親会
30	○職員会議
【7月】	
1	<input type="checkbox"/> ポプラ引馬
2	<input type="checkbox"/> 群馬大学特別支援学校引馬
8	○施設長部会 特別研修会
14・15	○関東地区施設職員研修 埼玉大会
21	○懇親会
25	<input type="checkbox"/> フレンドリークラブたんぼぼ引馬
30	○第52回群馬県手をつなぐ育成会大会
【8月】	
4	○職員会議
9	○夏季特別研修会
23	○自閉症協会研修
25	○刈払機取扱作業安全衛生教育
【9月】	
1	○職員会議
24	<input type="checkbox"/> 赤城自然園引馬（共同印刷）
【10月】	

1	□赤城自然園引馬（山田昇記念財団）
6	○職員会議
10	□るなびーく引馬
16	□広済会引馬 青少年会館
【11月】	
1	○職員会議
3	□富士見産業祭
6	□赤城自然園引馬（山田記念財団）
11	○平成28年度進路懇談会 高崎特別支援学校
13	○イオンクリーン活動
23	□トモロの森引馬
【12月】	
1	○職員会議
【1月】	
5	○新年顔合わせ
7	○新年顔合わせ・祝成人
12	○職員会議
15	○平成27年度会計事務説明会
25	○群馬県知的障害者福祉協会事務部会 ○日中活動支援部会
26	○懇親会
26	○H27年度 社会福祉施設等施設長・管理者研修
27	○社会福祉法人会計基準講習会 ○群馬県知的障害者福祉協会 施設長部会
【2月】	
2	○職員会議
8	○日中活動支援部会（職員連絡会）
12	○職員会議
16	○ゆうあいフェスティバル反省会
17	○平成28年度 社会福祉法人等役員講習会
【3月】	
3	○職員会議
7	○社会福祉法人処遇講習会
9	○退職金共済説明会 ○報奨金説明会
10	○事務部会
18	○あかぎ南麓さくらフェスタ 全体説明会
22	○H27年度障害者福祉関係事業者説明会
27	○事業所説明会
27・28	○あかぎ杯群馬県馬事公苑大会

6. 支援サービスの状況

労働契約による就労の場として8年7カ月経過した。基本は、利用者が馬を中心に生き甲斐を持って取り組める仕事の確保を第一とし、賃金及び工賃の向上に繋げられるよう取り組んでいる。利用者・保護者の目的意識と、事業所機能にズレが感じられることもあるが、障害者の特性を理解して、その目的を受容、共感しながら利用者個々にあった支援サービスを提供しなければならないと感じている。

賃金の支給額は、就労継続支援A型事業所として、平均3万4千円を賃金として払うことができた。全国平均は7万円であり群馬県内では最低の支給金額であることを受け止めなければいけない。他の事業所より支給するという意味ではなく、労働の対価に見合った支給をしなければいけないと感じている。雇用契約の方は18名全員社会保険に加入し、最低賃金の特例許可申請を適用させていただき支給させていただいている。(雇用なし、5名平均1万2千円)

前橋市、高崎市、渋川市、吉岡町と日中一時事業契約を締結した。15歳以上の知的障害者が対象となるため、とっさの行動に対応できる職員育成が急務である。基準単価により報酬が決定されるため、区分により受け入れることが出来ない事態は避けなければならない。今年度の利用は無かったが継続していく。

日常は就労事業を中心に支援サービスを提供しているが、その減り張りとして、利用者間の懇親と慰労等を兼ね、事業所定休日で開所できる日を懇親会として設定し、自由参加にて希望があった方を対象として、アクティビティ支援を就労事業所として出来る内容を提案させていただき、利用者の自由な意思により参加していただいている。今後は保護者と共同で開催できる行事を計画し、保護者との関係を構築できる機会としていきたい。

7. 保健部門

◎保護者より本人の疾病等について、注意すべき点等の説明をいただき、必要な方には薬を預かり職員全員で把握した。

◎平素より本人の状態を把握し、異変に早く気づくよう心がけた。

◎感染症に対する予防

* 食事前のうがい・手洗いの励行 (アルコール入手洗い洗剤使用)

* ペーパータオルの使用

* 長靴洗浄の励行

* 使い捨てカップの使用 (紙に変更)

* 便座クリーナーの使用

月 日	内 容
H28.6 8・15	生活習慣病検診 社会保険加入利用者35歳以上
H28. 9 16.21.30	健康診断 (成人病検診以外の方) 身長・体重・血圧・問診・尿検査
職員随時 (1/年)	生活習慣病検診、健康診断

胃腸炎が集団感染し利用者の半数が欠勤することがあった。平成29年度も職員に対し

ではインフルエンザ予防接種を行い、最悪の事態となる事業所休館のリスクを回避できるよう、可能な予防策を検討していく。

8. 事故防止

事故報告書によると、事業所内活動時、十分に注意を払っているものの大きな事故につながる可能性があったことが挙げられている。

- ・落馬
- ・職員N 公用車接触。コンパウンドにて修理済。
- ・利用者M様 左下腿挫傷（12針縫合）
- ・職員M ハイエース接触（送迎中）
- ・職員M セレナ追突事故。（送迎中）保険対応。
- ・不明 ハイエース前輪助手席側後部破損。修理30万円

＊運転前点検の励行を確認。

9. 避難訓練

月 日	内 容
H28. 9. 1	職員連絡網・非常招集
H29. 2.26	消火・通報・避難誘導

年2回の避難訓練であったが、利用者の協力もあり避難においてはスムーズな誘導が行っていた。

【今後の課題】

障害者をありのまま受け入れる（受容）ができない事により、障害特性による行動も職員個人の一般常識と照らし合わせて対応してしまう。職員会議を利用して職員各々に担当利用者の障害特性を調べ発表する機会をもうけて、情報の共有化を図っている。障害者に教える。障害者を訓練する。との考えを拭うまでにはいたっていない。問題行動を軽減させるためにどのような支援が必要か、どのように支援すれば仕事ができるようになるのか、利用者・保護者は何を望んでいるのかを全職員で考え、安全安心とじてもらえる事業所として個別支援計画により支援をしていかなければならない。障害者と共に汗を流し、一緒に考え、喜びを分かち合うことが出来る障害特性を理解した職員育成が急務となっている。

収益事業では、近隣奈良農場・Dr.GREENとの契約により作業の確保が出来た。